

日 本 大 学

# 校 友 会 報

発 行  
 日本大学通信教育部校友会  
 徳 島 県 支 部  
 〒 772 - 0051  
 鳴門市鳴門町高島字中島 220  
 土 井 栄 次  
 T E L 088 - 687 - 3403  
 e-mail : kdoi @ tv-naruto.ne.jp

## 平成 25 年度徳島県支部総会 四国ブロック総会のご案内

**平** 成 25 年 11 月 17 日にホテル千  
 秋閣で開催します。本部及  
 び四国地区から校友が集いま  
 す。多数の皆様参加を願いま  
 す。

なお、当日の資料は下記のと  
 おりです。

本部顧問、元四国ブロック長、

元入学相談員

新居行次先生死去 98 歳

**本** 部顧問、元四国ブロック長、  
 元入学相談員等で校友会の  
 発展にご尽力賜りました。新居

行次先生が平成 25 年 4 月 8 日に  
 死去されました。校友を代表し  
 て佐々木由信、本田守、吉成真  
 佐人の各氏が葬儀に参列して頂  
 きました。謹んでご冥福をお祈

り申し上げます。

なお、校友会本部から左記の  
 とおり感謝状が授与されました。

### 感 謝 状

新 居 行 次 殿

貴殿は日本大学通信教育部校  
 友会の発展のため多年にわた  
 り献身的に尽くされた努力は  
 誠に顕著なものがありました  
 茲に生前のご功績をたたえ深  
 甚なる感謝の意を表します

平成二十五年五月二十五日

日本大学通信教育部校友会  
 会長 白戸忠志

### 平成 24 年度事業報告書

年 月 日	主 な 事 業 ・ 行 事	場 所	備 考
24. 5. 26	第 41 回 定 期 総 会	東京都	
24. 7. 1	役 員 会	徳島市	会報編集会議
24. 9. 1	四 国 ブ ロ ッ ク 総 会	宇和島市	
24. 10. 1	交友会支部会報第 34 号発行		120 部印刷
24. 11. 5	平成 23 年度支部総会	徳島市	5 名出席

### 平成 24 年度決算報告書

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
前年度繰越金	258,129	校友会本部役員会費補助	15,000
会 費 (27名)	40,500	会 報 印 刷 費	10,080
本 部 補 助 金	32,054	会 報 等 郵 送 料	12,054
雑 収 入	0	四国ブロック総会旅費補助	20,000
貯 金 利 子	33	次 年 度 繰 越 金	273,582
合 計	330,716	合 計	330,716

### 平成 25 年度事業計画書

年月日	主な事業・行事	場 所	備 考
25. 5. 25	第 42 回校友会定期総会	東京都	
6. 29	オール日大総会	徳島市	
7. 1	報編集会議	徳島市	
9. 1	徳島県支部会報第 35 号発行 日大通教校友会会報郵送		110 部
11. 17	徳島県支部総会 四国ブロック総会	徳島市 ホテル千秋閣	
26. 1 上旬	日大通教校友会 会報郵送		110 部

### 平成 25 年度予算書 (単位：円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
前年度繰越金	330,716	印 刷 費	15,000
会費(25名)	37,500	郵送料金等	15,000
本部補助金	35,000	定期・四国総 会参加補助	100,000
		校友会本部 役員会費補助	15,000
雑 収 入	0	消 耗 品 費	5,000
貯 金 利 子	24	予 備 費	253,240
合 計	403,240	合 計	403,240

朝に紅顔有りて、暮に白骨と為る

和漢朗詠集・藤原 義孝

### ああ、新居行次先生

昭43年 法学部卒

本田 守

**新** 居先生の訃報は、去る四月八日、徳島新聞の朝刊「お

くやみ」欄で。老いて尚お元氣

で「百歳まで生きる」のを目標

とされていた。大正三年生まれ

の先生は、「数え年」ならその目

標に到達したことになるのだが、

満年齢で表記される現在、享年

九十八歳であった。男性の平均

寿命七十九歳の今日、約二十年

長生きされたことになり文字通

り「天寿を全うされての大往生」

と言えよう。

新居先生と初めてお会いした

のは、私が本学通信教育部に入

学して間もない頃、今から半世

紀近く前の事となる。先生はそ

の時はまだお若く五十歳代に入っ

たばかりの壮年期、働き盛りで

あられた。

終戦間もない頃、軍隊が解除、

復員されて来た先生は教員不足

の時代、中学校の英語科の教諭

として採用されたが、これに飽

き足りず高校教員を目指して本

学通信教育部に入學。教職勤務

の傍ら努力を重ねられ昭和三十

年三月に文理学部を卒業され

ている。卒業と同時に中学一級、

高校二級の教員免許を取得され

たことは言うまでもない。

それ以来県下の高校、中でも

徳島工業高校定時制(夜間部)

の英語科担当教諭として永年勤

務された。定年退職後は地区の

公民館長を初め要職を歴任され

たが、八十歳を境にして、「名譽

職は菩提寺の總代長のみ」と宣

言され、これだけは生涯に亘つ

て務められた。

通信教育部の入學相談員とし

てよく面倒を見られたが、同・

校友会役員(具支部長・四国プロッ

ク長・相談役)としても持てる力

量を遺憾なく發揮されて、大き

な足跡を残されている。今日の

校友会の礎(いしずえ)を築いた

お一人と言つて過言ではない。

明朗にして活発、非常に面倒

見の良いお人柄であられたが、

反面、短気で怒りばく「瞬間湯

沸し器」と揶揄された。それも

今では懐かしい思い出の一つと

なった。どうか安らかにお眠り

下さい。ご冥福を心よりお祈り

申し上げます。

### 市民マラソンを知っていますかその2

平47年 文理学部卒

土井 榮次

九回目 二度目のホノルル(平成23年12月)

徳島大学開放実践センターの

スポーツ講座「ホノルルマラソ

ンを走ろう」としては、10回目

にあたる。家内は第一回のホノ

ルルマラソンが初めてのマラソ

ンであり、10年間も良く続いた

ものと感心している。

小生は初めてのハワイ旅行で

あった。ハワイは大勢の日本人

が旅行するように楽しい島であ

る。難点は物価が高いことであ

る。(妻は6時間26分15秒で完走メ

ダル受領)

十回目 カナダ、バンクーバー(平

成24年5月)

カナダは、九千万平方キロメー

トルの広い土地に人口は日本の

4分の1、ロッキーマウンテンに代表

されるように壮大な自然に恵ま

れていて、世界中の人々のあこ

がれの国であり、国の歴史が浅

くアジア等から移民が多い国で

ある。

食べ物は、エビ、ホタテ、生

牡蠣の魚介類から、肉料理まで

豊富である。バンクーバーは、

日本の瀬戸内海とよく似ていて

静かな海に島々が点在している。

ホテルの最上階のレストランで

眼下に点在する島々を見ながら、

朝食は朝日、夕食は夕日を見な

がらワインを飲みながらゆったり

りした食事は、旅行気分を満喫

できた。

マラソンコースは、島々に渡

された橋を経由して、湾内を一

周するよう設定されていた。ラ

ンナーは、沿道の笑顔の応援と

美しい景色の中、苦しさを忘れ

た。

この年は、海外マラソンが二

度目ということで、筆者は同伴

せず妻は友人と二人で参加した。

ヘルシキルのコースは、パト

ル海に浮ぶ小島を渡り、シーサ

イドを眺めたり、ブランレスト

ニア、ラトビア、リトアニアの

バルト三国に立ち寄って帰国した。

(妻は5時間51分19秒で完走メ

ダル受領)

ることができて、楽しみながら

走っていた。

マラソンの翌日からの観光は、

ロッキーマウンテン、レイク・ル

ーズを訪問した。

(妻は5時間57分47秒で完走メ

ダル受領)

十一回目 ヘルシキ(平成24年

8月)

この年は、海外マラソンが二

度目ということで、筆者は同伴

せず妻は友人と二人で参加した。

ヘルシキルのコースは、パト

ル海に浮ぶ小島を渡り、シーサ

イドを眺めたり、ブランレスト

ニア、ラトビア、リトアニアの

バルト三国に立ち寄って帰国した。

(妻は5時間51分19秒で完走メ

ダル受領)



十二回目 まほろしのアメリカ・  
デイスニーランド(平成25年1月)

筆者が柿の木から落下したた  
め、右肩の腱を断裂し、12月に  
手術をし、3ヶ月固定器具を装  
着する羽目になり、右手が全く  
使用できない状態になった。旅  
行予約代金、マラソン大会のエ  
ントリー料を支払っていたが、  
やむなく断念した。妻は近い将  
来に再挑戦を願っているように  
ある。

怪我の教訓として高齢者にな  
ると筆者のようにバランスが取  
れなくなり、踏み台の上から落  
下して、骨折したりする事故が  
多い、整形外科ではこのような  
患者が多いので皆様お気をつ  
けてください。

おわりに

平成16年に退職してから、マ  
ラソンを初めて10年目になる。

この間、ウルトラマラソンが65 km・  
60 kmと2回、フルマラソン42 km  
が海外11回、国内28回、ハーフ  
(20 km)は数知れず参加してい  
る。

制限時間を忘れて、写真を撮  
ることに夢中になり、制限バス  
に収容された途中棄権一回以外  
は全て完走している。とくかく  
健康に感謝しなければならぬ  
が、現在の66歳からあと何年間  
走ることができるのか、筆者は  
ハラハラしながら眺めているだ  
けである。

それでも海外マラソンに随行  
して、エイド係(コースの途中  
で、飲食物を提供したり、筋肉  
スプレーを散布して、ランナー  
を助ける)を勤めランナーから  
感謝されたり、貴重な体験は数  
しれない。校友の皆様も観光を  
兼ねて海外で走ってみませんか。

66歳のつづやき

昭47年年 文理学部卒

山 本 守

**先** 日は日大校友会徳島県支部  
総会に出席しました。本田  
さん(副支部長)いつもお世話  
になります。佐々木先生にご挨拶

拶、懇親会では左に吉成さん右  
に土井さん向かい側に福本さん  
(旧姓川口)とお目にかかれま  
した。他の学部の方で日頃お会

いしているながらこの会で「え、  
日大卒だったの」とお互いにびっ  
くりした人が何人かいらっしや  
いました。

支部長山口さんの挨拶の中で  
各学部のOBにお願いして総会  
を同一日にし懇親会を合同にす  
れば活気がでるので案に拍  
手しました。会合は目的や集ま  
る方々の思いによって種々様々  
でありますが、どの会も熱心な  
人で支えられているし、その方  
に共鳴して集まっている様に思  
えます。来年を楽しみに皆さん  
参加しましょう。

随分時代を遡りますが日大ス  
クーリングで哲学を受講したと  
き唯物論とか唯心論のお話が頭  
の隅に残っていて、興味をひか  
れたのを思い出しましたが多忙  
であったのと若さの至りでその  
まま消え去ってしまいました。こ  
の年になり定年や老後のことを  
考えるようになり、人間の肉体  
と心のことや世間の社会の仕組  
みのことを少し真剣に考えるよ  
うになってきました。今まで無  
鉄砲に暮らしてきたなあと反省  
している次第です。

定年とは一定の年齢に達した  
ら職を離れる決まり事の様です。  
一定の年齢とは何歳なのか雇用  
関係には決められた退職年齢が



としました。

ある。官職の方には決められた  
退官年齢がある。自由業の私の  
定年とは命絶えるまで、70歳か  
ら75歳までいやいや、年金、年  
金基金、預金かな。世の中はそ  
れぞれに年齢相応に求められる  
務めは数限りない様に思えます。  
しっかり心(唯心)を磨くこと  
にしますか。年老いた土地家屋  
調査士は多趣味に忙しいとして  
も、最後の定年(看板おろす)  
は自分で結論を出すことにした  
いですね。

最近結論を得ました。私の業  
務の定年は、自分で決めるので  
なく世間が決めてくれることが  
わかりました。「早く看板を下ろ  
して元気な内に好きなことを」  
と思うのは自分勝手な小さな考  
えであることを反省しました。  
世の中が大きく動いている中で  
自然に看板を下ろせる来時期が  
くることを信じて迷わないこと

女房の意見「文無しから始まっ  
た人生、自宅と事務所が建てら  
れて、三人の子供の教育が終わ  
り結婚独立しているから、最後  
は0であるの世へ行けば、残した  
夢はまだあるの、この世で居る  
内に悔いを残さないようにして  
聖天してください。」とのこと。  
仕事はいつ辞めてくれても良い  
が家では居てくれるなど言う。  
コミニティが不足していると言  
われている昨今ですが身近に感  
じられました。家族、お隣さん、  
ご近所さん、町内会、地域社会、  
輪は大きく広げていきましても  
つながりは大切にしたいですね。  
OBの皆さんこの世の中で求め  
られ必要とされている内は、第  
一線から卒業しても自分に出来  
ることはいつまでも積極的に参  
加してお役に立ちましょう。

# 格 安 の 宿

平成10年 法学部卒

小 濱 綾 子

**ツ** アーの出発時刻の関係で、大阪の難波で泊まらなければならぬことになった。ネットでは格安ビジネスホテルを探すが、南の中心だけに、素泊まりで最低でも六〜七千円くらいである。年金暮らしには高すぎる。

あちこち探しているうちに見つけた。「素泊まり、一泊二千七百円」。初めての所はちよつと怖いけど、安さに惹かれ、決心を出かけた。難波から、御堂筋を北に向かって歩いて行く。道頓堀、韓国領事館を過ぎて、横町に入るとすぐみ見つかった。優しいお兄ちゃんが、施設の

利用の仕方を説明してくれた。渡されたカードを使って、女性専用フロアーに行く。荷物を入れるロッカー、寝間着、歯ブラシ、トイレ、シャワー等必要な物は全部揃っている。カプセルは、寝るのに十分なスペースがあり、テレビ、明るさを調整できる照明、空調、アラーム付き時計などが完備していて申し分ない。飲食だけは、決められた

場所ではないからいけないが、一泊するには、十分である。「エコキューブ心齋橋」名の通り徹底的に無駄を省いたホテルである。チェックアウト時の対応も気持ちよかった。

数日して、今度は、香川県の善通寺市で、「相部屋、素泊まり一泊二千五百円」の宿を見つけた。室内は、飲食不可、トイレ、風呂は共同、歯ブラシ、タオル、洗濯などは必要な人にだけ有料で提供、ベッドが二段になっており、カプセルよりは広々としている。

その名は「ミカサスカサ」(スペイン語で私の家・あなたの家の意)、初めて出会った同志が、一夜だけ同じ家で過ごし、いろいろ話をするのが面白かった。若い女将さんの対応もよかった。どちらの宿も、徹底的に無駄を省いて、一泊するのに必要な最小限度の物、設備、空間を格安料金で提供してくれて、十分満足した。これから先、年金は下がるこ

とはあっても上がることはないだろう。物価は上がり、消費税率も上がり可処分所得は減る一方だろう。

しかし、嘆くことはない。徹底的に無駄を省いて、工夫さえすれば、まだまだ豊かに暮らせる。高齢期を楽しみながら生きていける。そんな自信を持たせてくれた格安の宿であった。ありがとう！

## 会費納入のお願い

校友の皆様の会費により細々と徳島県支部を続けています。会費の主な用途は、会報の印刷費と郵送料です。会費納入率の向上により、各種事業が実施され、日大通教校友会が徳島県でも注目を浴びよう願っています。会費は、同封の「振込取扱票」に卒業年次、住所、氏名を記入の上、千五百円を添えて郵便局に提出してください。なお、手数料七十円は校友がご負担願います。

## 平成25年度日本大学通信教育部校友会

### 四国ブロック総会の開催について(ご案内)

日本大学通信教育部校友会

会 長 白 戸 忠 志

四国ブロック長 山 崎 孝 明

徳島県支部長 土 井 栄 次

① 日 時 平成25年11月17日(日) 15時00分〜

② 会 場 ホテル千秋閣(自治会館ビル)

③ 日 程 受 付 14時30分〜15時00分

総 会 15時00分〜17時00分

懇親会 17時30分〜19時30分

阿波踊り観光 20時00分〜21時30分(七〇〇円)

④ 会 費 懇親会等五、〇〇〇円

⑤ 交通案内 なお、当ホテルには、無料の駐車場があります。

## 編 集 後 記

新居行次先生が98歳で天国に召された。

以前から少子高齢化が問題視されているが、人口動態調査によると、日本の人口は1年間で26万人、徳島県では6千5百人が自然減となっている。

徳島県は、65歳以上が約28%、何と三分の一近い、全国8位の高齢化率の県である。

校友会徳島県支部も同様で、新卒の入会者は年間1人程度に對して、何人かの校友の訃報が届く。

先細りで、淋しい限りであるが新居先生を初め先輩達が築いた伝統ある徳島県支部の灯を守って行かなければならない。

役員になり手のいない現状では、老体に鞭打ち、頑張るしかない。(土井)